

令和7年度事務事業評価(対象:令和6年度実施事業)集計表

R6年度の事後評価	①必要性	②目標達成度	①必要性の評価	
			件数	割合(%)
			A:非常に高い	274 73%
			B:高い	88 24%
			C:ある程度認められる	12 3%
			計	374 100%
③実施方法内容	④公平性	④公平性	②目標達成度の評価	
			件数	割合(%)
			A:達成した(100%)	124 33%
			B:概ね達成した(80%以上)	217 58%
			C:達成できなかった(80%未満)	33 9%
の ii 見直し の者 余負 地担	偏りがある やや偏りがある 偏りがない 非該当	偏りがある やや偏りがある 偏りがない 非該当	計	374 100%
			③実施内容・方法の評価	
			件数	割合(%)
			ア:余地が大きい	10 3%
			イ:ある程度余地がある	311 83%
			ウ:余地がない	53 14%
			計	374 100%
部 i に偏りがある かつ益平 て者性 いがる一 の ii 見直し の者 余負 地担	偏りがある やや偏りがある 偏りがない 非該当	偏りがある やや偏りがある 偏りがない 非該当	④公平性の評価	
			件数	割合(%)
			偏りがある	54 14%
			やや偏りがある	97 26%
			偏りがない	94 25%
			非該当	129 35%
			計	374 100%
の ii 見直し の者 余負 地担	余地がある 余地がない 受益者負担がない 非該当	余地がある 余地がない 受益者負担がない 非該当	④公平性の評価	
			件数	割合(%)
			余地がある	74 20%
			余地がない	30 8%
			受益者負担がない	87 23%
			非該当	183 49%
			計	374 100%

※④公平性「ii 受益者負担の見直しの余地」の率は、④公平性「i 受益者が一部に偏っているか」の「ア:偏りがある+イ:やや偏りがある+ウ:偏りがない」の合計を分母としている。

※割合は小数点以下を四捨五入しているため、各項目を足し合わせても100%にならない場合がある。

計画期間を通じての評価	課題	④公平性の評価	
		件数	割合(%)
		一:課題はほとんどない	35 10%
		〇:ある程度課題がある	301 80%
	●:大きな課題がある	38 10%	
計		374	100%
総合評価		総合評価	
		件数	割合(%)
		☆☆☆:順調	121 32%
		☆☆:概ね順調	230 61%
		☆:遅れ (対象外)	21 6%
	計	374	100%

今後の方向性	方向性		件数	割合(%)
	現状のまま継続		276	74%
	休止・廃止		0	0%
	終了・完了		3	1%
	見直して継続		84	22%
	他事業と統合して継続		11	3%
	見直し方針	重点化(拡充)	55	58%
		手段を改善	32	34%
		効率・簡素化	6	6%
		その他	11	12%
	計		374	100%
経営資源	事業費	増加	99	26%
		現状維持	265	71%
		削減	10	3%
		計	374	100%
	労働量	増加	106	28%
		現状維持	262	70%
		削減	6	2%
	計		374	100%

※見直し方針の率は、「見直して継続+他事業と統合して継続」の件数を分母としている。

※割合は小数点以下を四捨五入していること、方向性の見直し方針で複数項目を選択している事業があるため、各項目を足し合わせても100%にならない場合がある。